

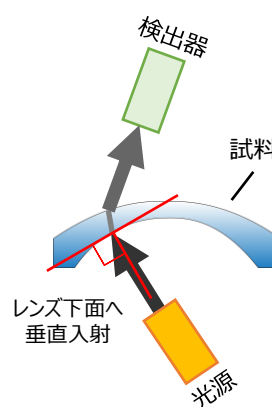
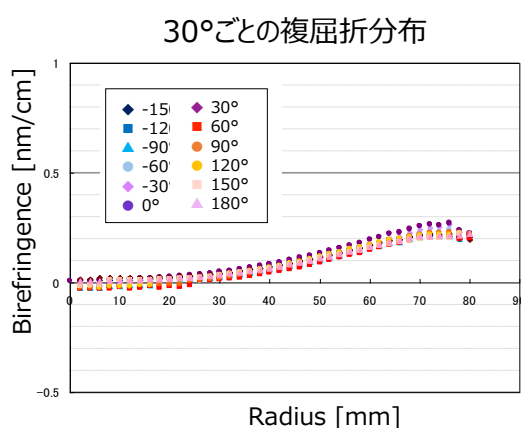
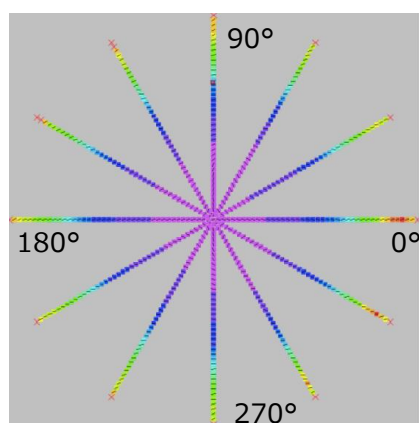
複屈折測定

レンズ形状での複屈折測定

概要

直径250mmの合成石英ガラス製レンズの複屈折を測定しました。
測定はPEM(光弾性変調器)を用いた位相変調法で、レンズ下面に対して光線を垂直に入射する条件で行いました。光源と検出器をレンズ形状に追従させて測定した結果、レンズ中心から外周方向へ同心円状に複屈折の分布が確認されました。

結果・データ



- ・試料：合成石英ガラス
- ・試料形状：φ250 mm レンズ形状
- ・温度：室温
- ・測定波長：633 nm
- ・評価領域：φ160 mm

測定の特徴

- 平行平板の場合、直径450mm、厚さ150mmまで測定可能
- 鉛直方向だけでなく、水平方向または70°までの斜入射測定が可能
- 表裏面が研磨された平行平板や球面レンズ形状に対応

【測定波長】 633 nm
 【有効測定領域】 直径 450 mm
 【測定精度】 ±0.03 nm
 【試料】 透過性のあるガラス、結晶、等

応用例

- ◎ 光照射によるダメージ部の複屈折変化測定
- ◎ 試料内の応力分布の可視化

光ガラス株式会社

住所：012-0104 秋田県湯沢市駒形町字三又白幡155
 TEL：0183-42-4299 FAX:03-6433-3756
 E-mail：Hikari.Sales_info@nikon.com
 URL：https://www.hikari-g.co.jp/

光ガラスの受託計測

基本的な光学特性評価はもちろん、最先端の装置による真空紫外領域の物性評価、複屈折測定など様々なご要望にお応えします。
 また、精密用途部品や高精度測定のための加工についてもご相談を承ります。